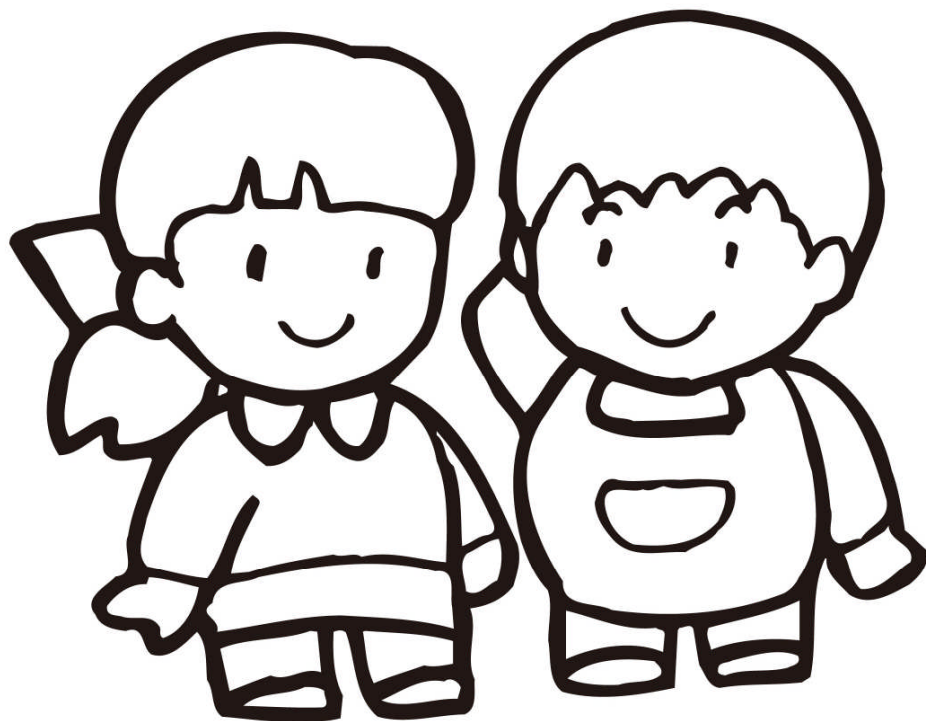


幼 兒 編



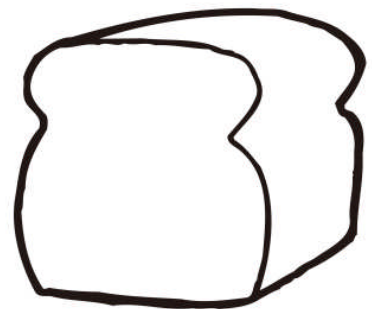
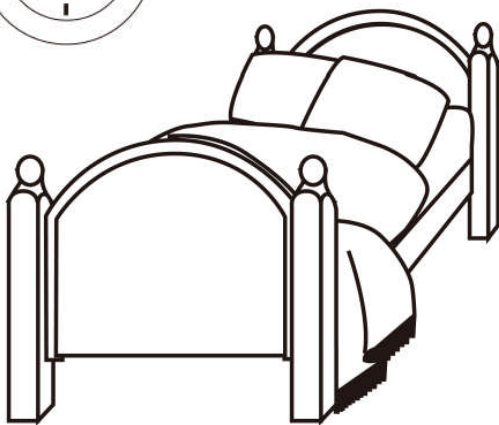
幼児期の生（生きること）の健康教育プログラム

（幼児編：保育者が幼児に対する支援プログラム）

（目標）「思いやりをもって仲良く遊び、 “いのちを大切にする” 子ども」

| | ね ら い | 内 容 |
|---|------------------------------|--|
| 1 | 幼児が基本的生活習慣を身につける。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯などの生活リズムを身につける。 (2) 親しみをもって日常のあいさつをする。 (3) 年齢に応じた身支度や片づけができる。 (4) 体を清潔に保つ。（手洗い、歯みがき、うがい、排泄など） |
| 2 | 幼児が自分や家族、友だち、動植物などの命の大切さを知る。 | (1) 自分を大切にする。 (2) 感謝の気持ちをもつ。 (3) 思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 (4) 動植物をかわいがって育てる。 (5) 美しいものに感動する。 (6) 友だちと仲良くし、助け合う。 |
| 3 | 幼児が命のつながりを知る。 | (1) 命のつながりに関心をもつ。 (2) 妊娠、出産について知る機会を大切にし、自分の誕生と両親の存在との関係を知る。 (3) 男女の体の違いを知る。 (4) 愛情と信頼感（自己肯定感、愛されている）をもつ。 (5) 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの対応の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 |
| 4 | 幼児が体のすばらしさを知る。 | (1) 体の部位の名称が言え、各部位の働きに関心をもつ。 (2) 体を清潔に保つ。（手の洗い方、汗の始末など） (3) 基本的な動き（転がる、回る、走る、ジャンプする、投げるなど）を通して、できた喜びを感じる。 (4) 自分の健康に関心をもち、健康であることの喜びを感じる。 |
| 5 | 幼児が自分の意思を言葉や態度で表現する。 | (1) 周りの人の話を静かに聞く。 (2) 自分の思いを他の人に伝える。 (3) 様々な出来事の中で感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 (4) 「なぜ？」、「どうして？」などの興味関心を深める。 |
| 6 | 幼児が身近な人に親しみをもち、関わりを深める。 | (1) 誰とでも仲良く遊ぶ。（自分より年上の子、年下の子、近所の子） (2) 遊びのルールを守って遊ぶ。 (3) 遊びを通してコミュニケーションスキルを獲得する。 |

| | ねらい | 内容 |
|---|--------------------|---------------------------------|
| 1 | 幼児が基本的な生活習慣を身につける。 | (1) 早寝、早起き、朝ご飯などの生活リズムを身につける。 |
| | | (2) 親しみをもって日常のあいさつをする。 |
| | | (3) 年齢に応じた身支度や片づけができる。 |
| | | (4) 体を清潔に保つ。(手洗い、歯みがき、うがい、排泄など) |



(保護者へも働きかける：◇)

内容保育者の援助・配慮事項

- ① (◇) 朝食、夕食の実態（例えば、誰と何時に食事をしているか）を把握して、食事の大切さを知らせる。
- ② (◇) 体の成長にとって早寝、早起きが必要であることを知らせる。

「保育所たより」「幼稚園たより」
「クラスたより」などを活用する。

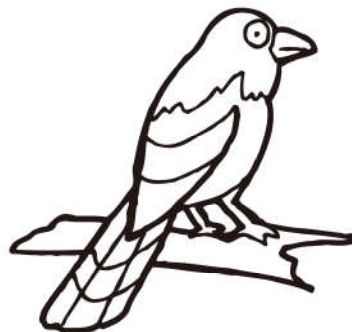
- ① 一日の生活の中で、その都度きちんとあいさつをする大切さを知らせる。
- ② 保育者がモデルとなって、親しみをもった日常のあいさつの仕方を繰り返し指導する。

- ① 発達段階に応じた（年齢ごとの）到達目標を設定し定着させる。
- ② 遊びの後、制作活動の後、昼食後などの片づけが身につくよう片づけ方を知らせる。
- ③ 片づけは、その場所に絵やマークなどを貼り、分かりやすく行えるようにする。
- ④ 着替えの時に、きちんと服をたたんでおく習慣を身につけさせる。
- ⑤ 片づけた後の気持ちよさを感じさせ、片づけの大切さを知らせる。

- ① 排泄がひとりでできるように繰り返し指導する。
- ② 手洗いやうがい、歯みがきの必要性を話し、きれいになる気持ちよさを感じさせる。
- ③ 衣服が汚れたときに着替えをすることで、さっぱりとした気持ちよさを感じさせる。



| | ねらい | 内容 |
|---|------------------------------|-----------------------|
| 2 | 幼児が自分や家族、友だち、動植物などの命の大切さを知る。 | (1) 自分を大切にする。 |
| | | (2) 感謝の気持ちをもつ。 |
| | | (3) 思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 |
| | | (4) 動植物をかわいがって育てる。 |
| | | (5) 美しいものに感動する。 |
| | | (6) 友だちと仲良くし、助け合う。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① 成長が感じられることは、ささいなことでも誉める。
- ② 個別的に、具体的に言葉がけをする。
- ③ お互いを認め合えるように接する。
- ④ 愛されている実感がもてるようにかかわる。

- ① 「ありがとう」のことが自然に出てくるように繰り返し指導する。
- ② 食事の際に「命をいただきます」という意味を伝える。
- ③ 昼食の時に、感謝の気持ちをもって食べることを知らせる。
- ④ 野菜などを育て、収穫したものを食べることで感謝の気持ちがもてるようにする。
- ⑤ 父の日、母の日、敬老の日、勤労感謝の日などに感謝の気持ちを表せるような活動をする。

- ① 年下の子やお年寄りと触れ合う機会をもつ。
- ② 怪我や病気をした友だちへの接し方について教える。

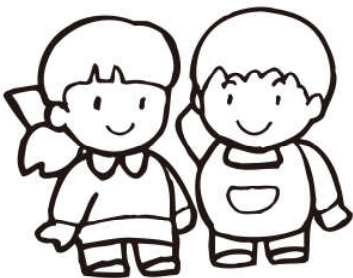
- ① 生き物の誕生や成長に興味や関心をもつよう、小動物を飼育する。
- ② (◇) 子どもが動植物を大切に扱っている場面を捉え、周囲に知らせる。
- ③ 外遊びをとおして園庭などの花や木々の名前を教えたり、季節ごとの景色の違いに気づかせ、植物の命について教える。
- ④ 植物の栽培や小動物を飼育することなどを通して、悲喜こもごもの体験を共有できる機会をもつ。

- ① 美しいもの（花、絵画、季節の移り変わりの景色など）に触れる機会をもつ。
- ② 美しいものに触れたとき、感じたことを言葉や態度で表現して知らせる。

- ① 共通の目的に向かって取り組む活動（作業）を意図的に取り入れる。
- ② 先生や友だちとの関わりの中で望ましい姿を認め、周囲に知らせると共に仲良くすること、助け合うことの心地よさを感じさせる。
- ③ お互いの存在や良さを認め合える関係を築けるようサポートする。



| | ねらい | 内容 |
|---|---------------|--|
| 3 | 幼児が命のつながりを知る。 | (1) 命のつながりに関心をもつ。 |
| | | (2) 妊娠、出産について知る機会を大切にし、自分の誕生と両親の存在との関係を知る。 |
| | | (3) 男女の体の違いを知る。 |
| | | (4) 愛情と信頼感（自己肯定感、愛されている）をもつ。 |
| | | (5) 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの対応の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① (◇)親子でスクラップブックング等を行い、生まれてきたときのことを自然と会話することができる場面をもつ。
- ② 世代が違う人たちが居ることを通して、命のつながりに気づかせる。

参観日に親子でスクラップ
ブックング等を行う。

- ① 子どもたちへ絵本や紙芝居等を用いて自分の誕生について興味をもたせ、親子の繋がりを理解させる。
- ② (◇)赤ちゃんを育てている母親と一緒に過ごす機会（参観日等の行事）を増やし、自分も育ててもらった実感をもたせる。
- ③ 誕生会などで一人ひとりが生まれてきたことに感謝の気持ちがもてるようにする。

- ① 男女の違いについて、トイレ指導やプールの着替えの時などに気づかせる。
- ② 絵本をとおして男女の体の違いを教える。

- ① (◇)周りの大人や家族に愛されて（大切にされて）生きていることを子ども自身が感じとれるよう、家族と連携して伝える。

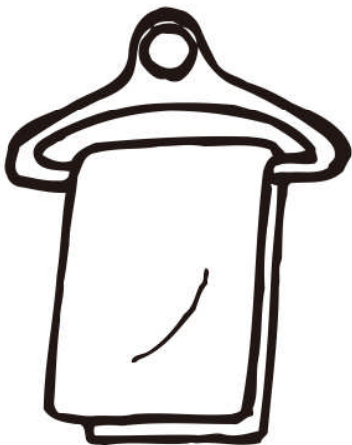
- ① その都度、何がどのように危険かを教える。
- ② 危険回避のために「つみきおに」を教える。

ア) 防犯訓練を行う。・・・警察署の協力を得る。
イ) 「つみきおに」を具体的に伝える。

「つ」・・・ついて行かない
「み」・・・みんなといつも一緒
「き」・・・きちんと知らせる
「お」・・・大声で助けを呼ぶ
「に」・・・逃げる



| | ねらい | 内容 |
|---|----------------|---|
| 4 | 幼児が体のすばらしさを知る。 | (1) 体の部位の名称が言え、各部位の働きに関心をもつ。 |
| | | (2) 体を清潔に保つ。(手の洗い方、汗の始末など) |
| | | (3) 基本的な動き(転がる、回る、走る、ジャンプする、投げるなど)を通して、できた喜びを感じる。 |
| | | (4) 自分の健康に関心をもち、健康であることの喜びを感じる。 |



内容保育者の援助・配慮事項

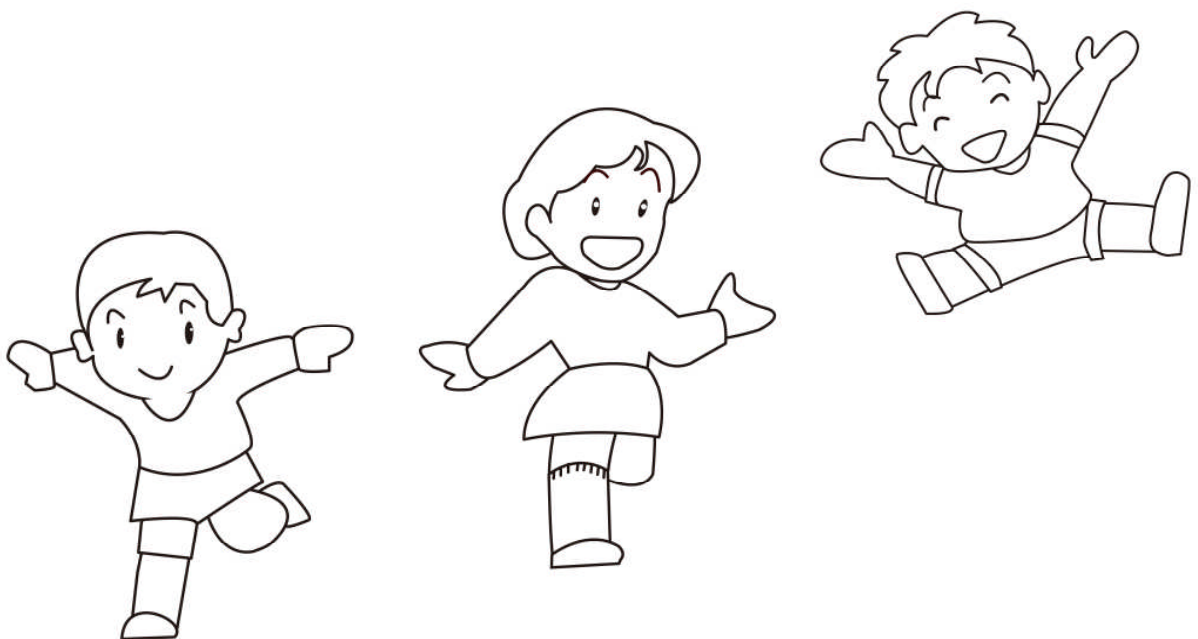
- ①紙芝居や絵本を用いて、体の名称や体の機能、清潔の必要性などについて伝える。
- ②人間の体には2つあるものが多いことを知らせたり、体の仕組みのすばらしさを感じさせたりする。
- ③みる、きく、かぐ、ふれる、あじわうなどの体験をさせ、五感を育てる。

体の名称は俗語でも良い。
ここで大事なことは、体のすばらしさとプライベートゾーンがあることを子どもに伝えることである。

- ① 体の汚れやすいところを教え、トイレの使い方や入浴の仕方を教える。
- ② 排泄後のお尻の拭き方を、特に女兒に教える。

- ① 基本的な動きを取り入れた遊びの環境を整える。
- ② 基本的な動きを取り入れた遊びを行う。
- ③ 基本的な動きの繰り返しによって、身のこなしが上手になることを気づかせる。
- ④ いろいろな遊びの中で基本的な動きや技能を十分に経験できるよう計画し、継続していけるようにする。

- ① 病気やケガの経験を通して健康であることの喜びを感じさせる。
- ② 自分の健康や体について関心をもち、食べ物や運動、生活のリズムの大切さなどについて、子ども自身が気づくように場面を捉えて伝える。
- ③ 健康診断を通して、体の仕組みや健康の大切さを知らせていき、関心をもてるようにする。



| | ねらい | 内容 |
|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 幼児が自分の意思を言葉や態度で表現する。 | (1) 周りの人の話を静かに聞く。 |
| | | (2) 自分の思いを他の人に伝える。 |
| | | (3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。 |
| | | (4) 「なぜ?」、「どうして?」などの興味関心を深める。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- ① 子どもの話をゆっくり、じっくり聞くことで、子どもに人の話の聞き方を教える。
- ② 相手の話を聞く習慣を身につけさせる。
- ③ 考えや思いをのびのびと表現できる場を設ける。
- ④ 保育者が聞き役になって、自信をもって話せるよう繰り返し指導する。
- ⑤ 人の話を静かに注意して聴ける態度を育てる。

- ① 自分がイヤなことは、はっきりイヤとすることができるようにする。
- ② 意思を相手に伝えられない子に対しては、時には保育者が代わって表現をし意思表示の方法を教える。
- ③ (◇)CAPや防犯寸劇などをおして、必要なときに大声で拒否を表現する練習をする。
- ④ 人の嫌がることを言ったりしないことを教え、嫌なことははっきり断ることも大事であることを教える。

警察署やCAPの協力を得る。

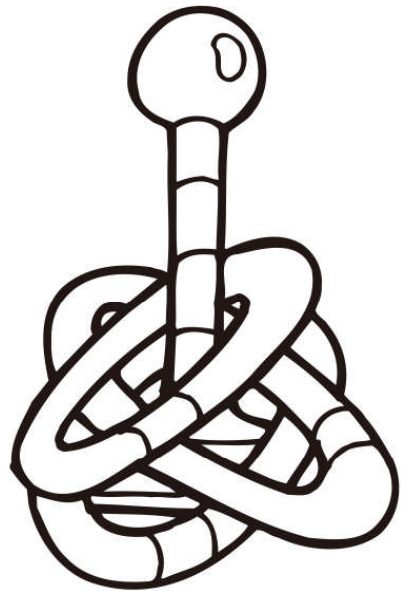
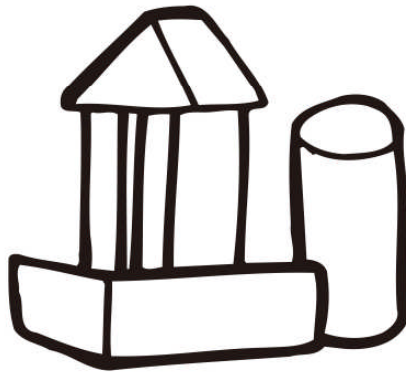
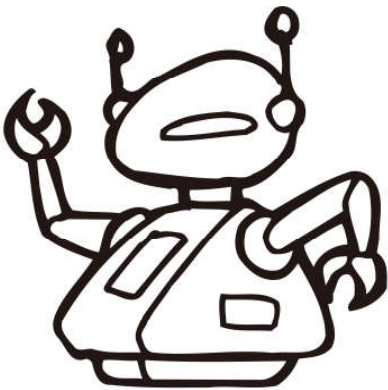
(※CAP・・・子ども自身が人権意識をしっかりとち、暴力から自分自身を守るための知識の普及活動を行っているNPO法人。)

- ① 新しい遊びや活動に挑戦させ、できた喜びを感じることができる環境をつくる。

- ① 興味、関心をもったことや疑問に感じたことを追求でき、知ることの喜びを味わえる環境をつくる。



| | ねらい | 内容 |
|---|-------------------------|--|
| 6 | 幼児が身近な人に親しみをもち、関わりを深める。 | (1) 誰とでも仲良く遊ぶ。 (自分より年上の子、年下の子、近所の子) |
| | | (2) 遊びのルールを守って遊ぶ。 |
| | | (3) 遊びを通してコミュニケーションスキルを獲得する。 |



内容保育者の援助・配慮事項

- | |
|---|
| ① 子ども同士のけんかの時は、双方の話を良く聞き、自分たちで解決できるように援助する。 ② 相手に危害を加える心配のないけんかは、じっと見守ったり、声をかけたりする。 ③ 異年齢との関わりを大切にし、楽しく親しみをもって触れ合う時間をもつ。 ④ 身近な人に親しみをもち、交流が生まれる楽しさを味わえる機会をもつ。 |
| ① 複数の友だちとの遊びを奨励する。 ② 遊びにはルールがあることを教え、仲良く遊ぶにはルールを守って遊ぶことを伝える。 |
| ① 友だちとの関わりをとおして、我慢したり、思いやりをもったりして遊べるよう援助する。 ② 幼児の思いを受け止め、その思いを友だちに伝えていくことで友だちとの関わりを深め、相手の良さに気づかせたりする。また、思いやりや我慢することの大切さにも気づかせる。 ③ 集団遊びをとおして友だちづくりをする。 |

